



山王中だより

学校教育目標 未来を見つめ自ら行動する生徒

令和5年5月1日

第2号

校長 土屋 孝夫

代表 2957-4891

相談室 2957-4968

目には青葉 山ほととぎす 初鰹

ついこの間まで、校地のケヤキの大木は丸裸だったのに、今やうっそうと若葉が生い茂っています。校庭の桜もすっかり見事な葉桜ぶりとなりました。植物の季節の移ろいになると敏感なことでしょうか。そしてその急激な成長ぶりには驚かされるばかりです。

5 月から6月の初夏の代表的な俳句に、山口素堂の「目には青葉 山ほととぎす 初鰹」があります。

山口素堂は江戸時代前期の俳人で、ほぼ同時代の俳人に「奥の細道」で有名な松尾芭蕉がいます。芭蕉があまりにも有名なので、「山口素堂？聞いたことない」となりますが、この「目には青葉…」

は1度くらいは耳にしたことがあるのではないのでしょうか。俳句では禁じ手とも言える季重なり（季語が複数あること）があり、しかも3つもあるので、季語だけで出来ている俳句と言っても過言ではありません。しかし、この3つの季語がそれぞれ異なる五感（視覚、聴覚、味覚）からのものであり、様々な五感を通して初夏のさわやかさや躍動感、そして季節の到来の喜びを表現しています。

学校ではどの学年もお陰様で順調な滑り出しをしていると考えています。2・3年生はそれぞれ昨年度以上に張りのある生活を送っていますし、1年生もだいぶ中学校生活に慣れてきたようです。生徒のみんなも校庭の木々に負けずに、新しい目標に向かって、枝や葉を思う存分伸ばして欲しいと願っています。そして1年間でも最もさわやかなこの季節を、思う存分楽しんでほしいと思います。



先生方に今年度の生徒の様子を聞いてみました

- あいさつが元気よく気持ちがいよ（1年生担当）
- 手伝いを頼むと気持ちよく引き受けてくれる生徒だらけ（1年生担当）
- 提出物はほぼ完ぺきに期限を守っている（1年生担当）
- 部活で上級生が後輩の面倒をよく見て優しく接している（2年生担当）
- 時間への意識が高い。ノーチャイムだけれどよく動いている（2年生担当）
- 授業で積極性が高まり拳手が増え、意欲を感じる（2年生担当）
- 朝読書がとてもよくできるようになった。チャイム前に教室に行くとシーンとなってみんなが読書を始めていてうれしくなった（3年生担当）
- 「心機一転、今年は頑張ろう」という意欲が集団全体から感じられる（3年生担当）
- 休み時間と授業の切り替えが上手にできている。明るい学年の雰囲気を感じる（3年生担当）
- 人数が少ないけれど、一人ひとりが数人分の働きをしてくれている。偉い！（やまびこ担当）



4月の様子



生徒会オリエンテーション 生徒会本部が中心となり1年生に学校生活についての説明をしました。



交通安全教室 交通指導員さんに来校していただき、1年生を対象に自転車の安全な利用についてご指導いただきました。



部活動仮入部 どの部も1年生獲得に向けて頑張っていました。いよいよ本入部です。頑張ってください。

月行事予定は学校だよりとは別にスケジュールで配信します(毎月はじめに翌月の予定をアップします)

◎スクリレの登録ありがとうございました！

「データの解像度が低いので細かい字が見づらい」という声もあります。その場合はご面倒ですが、PDFデータをダウンロードしてそのデータを開いていただくと、鮮明な画像でご覧いただけます（下記参照）。またそのデータをご家庭のプリンタで印刷することもできます。お時間のある時にお試しください。

- ①通知を開き右上の記号をタップ ②データの保存先等を選択する（機種によって異なります）



困りごとや悩みごとがあったら・・・

新年度が始まり約3週間。心機一転、新たな目標をもってスタートをきている人もいますが、一方で人間関係作りなどで悩みを抱えている人もいるのではないのでしょうか。また極度な緊張状態が緩み、ともすると活力まで失われる人もいるかも知れません。

ご家庭でもお子様の様子をよく見ていただくとともに、少しでも気になるようなことがありましたら、学校（担任やその他相談しやすい職員、相談室）のほか、下記の相談窓口にご相談ください。

- 1 山王中学校 さわかや相談室（直通電話）Tel 2 9 5 7 - 4 9 6 8
- 2 狭山市立教育センター 電話相談・面接相談 Tel 2 9 5 6 - 2 2 9 3
<https://www.sayama-stm.ed.jp/center/index/center.htm>
- 3 埼玉県立総合教育センター 電話相談・面接相談
 Tel（子供用）# 7 3 0 0 または 0 1 2 0 - 8 6 - 3 1 9 2
 Tel（保護者用）0 4 8 - 5 5 6 - 0 8 7 4
<https://www.center.spec.ed.jp/865b6ece361cd5879dab5759994187e7>



令和5年度という道のりも一人一人みな異なります。歩き出すスピードもみな異なります。だから人と比べて優越感や劣等感を感じる必要はありません。以下私からのアドバイスです（自分も何かあったときにこう思うようにしています。その「さなか」にいる時はなかなか難しいけどね）。

- 壁にぶつかり苦しい時は、自分の経験値をあげてくれるチャンスと思え、時間がたてば必ず笑い話や武勇伝になる。
- それでも進めなくなったら一休みするのも悪くない。学校がすべてじゃない。学び直しは今の時代いくらでもできる。様々な学びの場も今は用意されている。



コーヒータイム 正解者がほぼいなかったバックナンバーより

太郎くんの家族はテーマパーク・〇〇ランドに車で行きました。行きは道路がすいており平均時速60kmでしたが、帰りは道が混んでいたため平均時速20kmでした。では、往復での平均速度は時速何kmですか。（ちなみに「60と20の平均だから40km」とはなりませんよ。考え方：道のりが示されていないので、仮に片道60kmとして往復何時間かかったかを考えてみよう。「なるほど」となりますよ。）

前号の答え 4本の直線で円を分割させるとき、円は最大でいくつに分割できるのでしょうか？ ⇒11個
 答えを申し出た人は1名（そして見事正解）でした…。若者よ、積極的にチャレンジを！